隣の火事ではない水問題

きょうから環境月間

水は生命の源といわれる。人体はおよそ6割が水だとされ、生きる上で欠かすことはできない。にもかかわらず、わたしたちは水を軽視していないか。今一度、水の重要性を考えてみよう。県内で環境について学んだ子供たちの声も紹介する。

インタビュー

ジャーナリスト
橋本　淳司さん
（館林市在住）

―著書に、日本人は「水問題の重要性に気付いていない」というタイトルを付けてますね。

日本人は、水を〝ただ〟だと考える傾向が強いです。水に対する心配といえば、水道水への不安や水質汚染、どんな水を飲むと健康になるか。水がなくなるということは心配のうちに入っていません。しかし、自分が使う水だけ気にして、使い終わった水のことは考えない、またいい水を買おうという発想でいいのでしょうか。

日本にはふんだんに水があり、塩素などの課題はあるにせよ一定水準の水道水が飲めます。一方で世界各地には、水不足や汚染水からの感染症で子供たちが死んでいくという現実がある。2003年に開かれた世界水フォーラムで各国の出席者と話した中で、「日本人には水問題は理解できない」と言われたのですが、その通りだと思いました。

―水がたくさんあるために無自覚になっているのでしょうか。

人間が使える淡水はごくわずかで、地球上に平等にあるわけではありません。地球温暖化が進むにつれ、この傾向はますます強まるでしょう。

世界的にみて、日本は非常に水に恵まれた国。雨は一定量降るし、保水力のある森が多く、大きな恩恵を受けています。でも、世界には恵まれていない地域がある。そのことを、まず知る必要があると思います。

さらに、日本は恵まれているにもかかわらず、水を輸入しています。ミネラルウオーターの消費量はここ20年ほどで、約20倍になりました。もう1つは農作物の輸入。食料生産に水が使われることは忘れられがちです。特に肉は、豚も牛も水を使って栽培された飼料で育つので、生産にはばく大な水が必要です。

日本の食料自給率は4割程度。日本は貿易黒字が約10兆円ありますが、農作物は7兆円の赤字。つまり水を買うのに7兆円使っているのです。

―子供たちに、どれだけ水を無駄遣いしているかが分かる授業をしたそうですが。

日本人は1日に平均約320リットルの水を使っています。これは米国に次いで多い。最も少ないアフリカのガンビアはたった4・5リットルです。国連が提唱する、人間らしい生活をするため最低限必要な水は1日50リットル。では50リットルで過ごせるかやってみようという授業です。

子供たちは捨てている水の多さに驚きます。例えば歯磨きは、ほとんどの子供たちが水を出しっ放しでした。実際にはコップ1、2杯で十分なのに、3分磨いていれば36リットル使ってしまいます。

足りないのは明らかなので節水法を考えさせると、1人50リットルは少なくても3人合わせて150リットルなら足りるかもしれない、というすばらしいアイデアを引き出した子供もいました。今後、使える水が少なくなっていったとき、この発想は絶対に必要です。

節約の一方で、無駄にしてしまった水もありました。授業は合宿形式で行ったんですが、たくさんの残飯が出ました。節水はもちろん大事なんですが、食料を無駄にしないのも大事です。

―水というものを、広い視点で考える必要がありそうですね。

2025年には48カ国が水不足に悩むという予測があり、最近ではさらに深刻だと考えられています。水も食料も不足すれば輸入することが難しくなります。今、消費している量を日本にある水でまかなうことは無理。「日本は水赤字国」と言われますが、無駄なく使わなければなりません。

水をリユース、リサイクルすることです。というと、汚れた水を使わなければならないのかと思いますが、実は水の循環こそがリユース・リサイクル。汚れた水は自然の浄化作用によってきれいになり、また降ってきた水を私たちは使います。

自然の自浄能力を超えた負荷をかけることは止めましょう。それには無駄遣いをしないこと、汚れを流さないことです。

考えなければならないのは、10年後に今の暮らしはできないだろうということです。私たちの子供の世代は、もっと大変になります。水の問題はすでに隣の火事ではなく、自分の足元が燃え始めていると思います。

―水源県に住む私たちがしなければならないことは。

本県も、これまで話した状況の中にあることに代わりはありません。今夏は雪不足から渇水が予想されます。水不足は実際に起きているわけです。

水格差という問題も起きてくるでしょう。渇水時はミネラルウオーターの人気が高まると思いますが、水道水の何十倍も高価。また、水道は使う人口によって料金を算出するので、皆がミネラルウオーターに走って使われなくなると維持費がかかさみ、料金に跳ね返ります。水を汚すのも水道料金を高くします。水源県の県民として、まずは水源をきれいに保つことが責務ではないでしょうか。

▲米国・ホットスプリングスでは市内各所から水がわき出る。市民が大量の水をくみ、トラックに乗せていく

子供たちに水の大切さを伝える授業を行う橋本さん

家庭や会社に水を配送するボトル水業者＝トルコ・イスタンブール

▼何種類ものボトルが並ぶミネラルウオーター売り場

恵まれない地域があることを知ろう／日本人が使う水は1日平均約320リットル／自然の浄化能力を超す負荷かけない

あなたが1日に使った水は…？

使った項目	使う水	時間・回数	使った量
飲んだ水（牛乳やジュースなども）			
洗顔・歯磨き	1分間蛇口開放で12リットル	× 分	
トイレ	1回8リットル	× 回	
シャワー	1分間に8リットル	× 分	
風呂	1回180リットル／使用人数		
洗濯	1回70リットル	× 回	
炊事	1日200リットル／食事した人数		
合計			

【略歴】 はしもと・じゅんじ　1967年、館林市生まれ。学習院大文学部卒。出版社勤務をへて執筆活動に。著書に「水問題の重要性に気づいていない日本人」「水の大研究」（PHP研究所）「水のおもしろふしぎ雑学」（オーエス出版社）など。